

2025年7月10日
ダイキョーニシカワ株式会社

広島・山口県内の拠点で CO₂排出量ゼロの電力を導入 ～カーボンニュートラルの実現に貢献～

ダイキョーニシカワ株式会社（広島県東広島市寺家産業団地 5-1、代表取締役社長 杉山郁男）は、広島県内および山口県内の拠点において、CO₂を排出しない電気を使用するプラン(再エネ特約)を導入しました。

同プランは、太陽光や風力、水力、地熱、バイオマスなど、CO₂を排出しない再生可能エネルギーで発電した電気の供給を受けるものです。当社は同プランの導入を通じて、カーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

広島県の本社工場、八本松、可部、三入、大和工場、山口県の中関第1、第2、鶴浜工場の計8か所には6月1日から、本社には6月18日から導入しました。この9か所で年間使用していた約6,600万 kWh(2024年実績)を同プランのCO₂排出量ゼロの電力で賄うことで、年間約3万3,700トンのCO₂排出量の削減を見込んでいます。今後国内の他の拠点においても、同様のプランの導入を検討していきます。



当社は、2030年度までにCO₂排出量を50%削減（2013年度比）という目標を掲げています。これからも「人・社会・地球を大切にする企業の実現」という企業理念の下、目標達成に向けてさまざまな取組みを進めていきます。

【本件に関するお問合せ先】

ダイキョーニシカワ株式会社 経営管理本部

総務部 総務グループ

電話番号：082-493-5600

ーダイキョーニシカワ株式会社 会社概要ー

広島県東広島市に本社を構える提案型の総合プラスチックメーカー。起源は1953年にさかのぼり、合併により2007年に西川化成（株）とジー・ピー・ダイキョー（株）の2社のDNAを継承した「ダイキョーニシカワ（株）」が設立。自動車樹脂製品および住宅樹脂製品の製造、販売を主な事業としており、軽くて加工自由度が高いプラスチックの特性を活かして機能性をさらに高めながらも、安全性・環境への配慮を欠かすことなく、より付加価値の高い製品をお届けすることで、社会に貢献しています。

以上